

研修センター便り

No.9 後志教育研修センター

平成28年2月2日 発行

TEL0136-22-1337

FAX0136-22-2681

子供を社会化するためには

所長 平 正博

皆様には、ますますご健勝にてご活躍のことと拝察致します。昨年12月のお話しになります
が、福岡県大牟田市の公立小教諭より、「遠い地から申し訳ございませんが、そちらにある「教えて
考えさせる授業」のDVDをお貸しいただけないでしょうか？」と
のお電話を受け対応致しました。そのDVDが先月戻り、現在担任の
2年生30名程の子と写した年賀状も添えられておりました。子供た
ちは笑顔いっぱい。一人の子も一人にしない教室の雰囲気伝わって
まいりました。また、先生は明年春に退職予定の大ベテランであられ
ることや、今後の算数科指導についても意欲的に語られるなど、まさ
に「学び続ける教員」のお一人であることがわかりました。



さて、昨年8月には、教育課程企画特別部会より先の諮問に対する
論点整理が出されました。その補助資料の中に、「学校とは、社会への準備段階であり、学校その
ものも一つの社会である。子供たちは、学校を含めた社会の中での学びを通じて、何かを変えたり
、社会をよりよくできるなどの実感を持つことができる。」とありました。

人間は偶然、その時代、その社会に生まれます。そして、その社会にある文学や美術、音楽な
どの精神的な活動のみならず、その社会が有する価値や規範を含めた生活様式全般を「文化」と
して後天的に学習し獲得していきます。すなわち、社会化します。特に、幼児期や児童期におい
て習得した言語や文字、基本的な生活習慣等は、その後の学習の基本となるため、この時期の子
供たちの社会化を担う大人の存在は極めて重要となります。その大人とは、学校を含めた社会の
中で学び続ける教職員、保護者、地域の人たちであります。とりわけ、教員には各教科固有の知
識・技能に秀でることはもとより、教科の枠を超えた汎用性の高い認知スキルや協働的に問題解
決に取り組む意欲、自己調整能力、対人関係などの社会スキルを併せ持つことが大事です。

先の大牟田の先生は、DVD1枚を求め当センターまでたどり着きました。礼状にあったよう
に「例え見つけたとしても絶対に断られる」という難関にも臆せず立ち向かい、問題を解決され
ました。そして更に算数科指導について深く探求されようとしておられます。先生の「学び続け
る」一連の姿勢は、子供たちを社会化させる担い手として誠にふさわしい姿かと強く思いました。

私淑の気持ちがいっぱいに広がったところでございます。

情報機器 8/3

講師 小西 淳樹 (黒川小)
横田 恭平 (黒松内小)



家庭科 8/5

講師 齊藤恵美子 (栄小)
中山 康子 (留寿都中)



保健体育科 8/6

講師 田中 敦 (沢町小)
本間 拓喜 (京極中)



学級経営3 8/7

講師 川向 俊之 (長橋中)
益田 友恵 (倶東小)



幼保小の連携 8/10

講師 可児 直之 (北陽小)
須藤久美子(はまなす幼せ)



社会科 8/21&9/4

講師 鎌田比呂史 (岩東小)
川端 学 (仁木中)

